

令和6年岩手県モデル事業所伴走支援

施設概要 特別養護老人ホームむらさき苑

施種種別	介護老人福祉施設 短期入所生活介護
開設日	1991年9月5日
所在地	岩手県八幡平市

手順01 改善活動の準備をしよう

- 生産性向上の取組を推進するにあたって、プロジェクトチームをつくる。
- 現場担当者に任せるだけでなく、経営層も関与。
- 経営層から、取組開始のキックオフ宣言をし、取組の意義等を周知。

手順02 現場の課題を見える化しよう

- 記録の入力に時間がかかる。
- ①訂正する時に1人ずつしか出来ない。
 - ②ケースに入力した同じ内容を別の所にも入力しなければいけない。
 - ③一括入力の項目はあるが、同じ時間や内容でも別々に入力しなければいけない。
- 重複記載がある。
 - 時間が足りず入力できない時がある。
 - 記録が少ない。(聞かなければならない)
 - 夜間から早朝にかけて、排泄業務、食事業務時間、センサー対応時の見守り
 - 1日の流れの中での忙しさ 等

介護ソフト（NDソフトウェア）のタブレットを活用し、効率的に記録できる環境を整える。

手順03 実行計画を立てよう

導入したテクノロジー

NDソフトウェア

介護ソフト（NDソフトウェア）のタブレットを活用し、効率的に記録できる環境を整える

1

記録の基準
・ルール作成

- 記録の基準・ルール作成し、それぞれの項目に対し「情報収集」「記録」「確認」「活用」5W1Hを見える化。
- タブレットの運用ルール記載。

2

定型文マニュアル
の作成

- 定型文マニュアルの作成。

3

その他

- メーカーにほのぼのに効率的入力方法など使用方法を教えてもらう。

手順04

改善活動に取り組もう

導入したテクノロジー

NDソフトウェア

～工夫した点～

介護ソフト（NDソフトウェア）のタブレットを活用し、効率的に記録できる環境を整える

1

記録の基準
・ルール作成

- 質問されても答えられるようタブレットの使用方法や設定の仕方などリーダー等が理解しておく。
- ケース入力することしないことをまとめ、PCの前に張り出した。

2

マスターライン
の作成

- タブレットの使い方気づいたことは全てマニュアル化した。
- 若い職員に講師となってもらい、教えられる人を増やした。

3

その他

- やらなくてもいいことが増えるので楽になったり空く時間ができやすいと説明し理解してもらう。
- 棚卸同様にホワイトボードを活用。

手順05

改善活動を振り返ろう

同じ情報を重複記載することは多いか？

取組前

33%

取組後

88%

全くそう思わない・思わないが増加

ポジティブ回答
増加

情報を記載するときにどう記載するか・
表現するか迷うことは多いか？

取組前

27%

取組後

60%

全くそう思わない・思わないが増加

タブレットは持ち歩いてその場で入力できるのがよい。

見守りしながら入力できてよい。

手順06

実行計画を練り直そう

新たな課題

- 今回のクラスターで作成マニュアルを十分活用できなかった。
- タブレット活用に、依然ネガティブな職員もいる。
- 記録の仕方が統一されていない所もある。
- 他の業務について、そして他グループに対しても業務改善を行っていききたい。
- クラスターの時など居室に持っていけない時にどうしていくか。



- 対話を繰り返し方向性を合わせていききたい。
- グループで話し合いながら認識を合わせ、ブラッシュアップし、活用に向けて取り組み続けたい。
- 現在の取組を継続しながら「今のままでいいのか？」常に問いながら職員と一緒に考えていききたい。
- 他グループでも行っていく。